

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 NPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

貧困や家庭崩壊等の問題を抱えた子どもの居場所整備事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

近年、貧困や家庭崩壊等の問題を抱えた家庭が増えており、そのしわ寄せが子どもに、学力の低下、不登校、非行といった形で表れています。このような子ども達のケア、将来が大切にも関わらず、学校の対応には限界があり子どもの孤立感を深め問題行動の深刻化が懸念されます。安心できる居場所、話しに耳を傾け支えになる大人との出会い、進路へのサポートを目的としたプロジェクトです。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

①心の居場所として相談にのる、話を聞く、学校や親とのパイプ役になる、進路先と一緒に検討する等のケアを年間いつでも電話やメールで対応しました。②平日午後、希望者に学習のサポートを行いました。[のべ108日 324H]③平日午後事務所を居場所として開放しました。[のべ196日 784H]④学校やスクールソーシャルワーカーと連携しネットワークを広げる活動をしました。情報を一本化して把握し高校進学、就職など指導しました。④居場所となる環境整備をしました。(床工事、エアコン購入、机椅子購入など)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

①子どもが来るのを待つだけでなく、常に携帯やメールで連絡をとり合い、いつも心配していると伝え、いつでも話を聞くことをし続け信頼関係を築くようにしました。②保護者、教育機関と情報交換をして子どもをサポートするネットワークを強化、拡大しました。③一年を通し子どもの精神の安定を計ることができました。中学3年生に関しては都立高校進学、通信高校進学と無事次のステージを見つけ進んで行く事ができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

虐待、放置、貧困、不登校で家庭や学校が安心できる居場所ではないので子どもは糸の切れたタコのように不安定で、どこに行ってしまうか判らない怖さがあります。それでも子どもの可能性を信じて決して否定しない拒絶しない大人の存在が、彼らを前向きにさせて行くのだと思います。非行や犯罪を犯した子どもには保護司がいるように、不登校や軽い非行などの子どもにも同様に地域の大人の見守りが必要だと考えています。子どもは自ら家庭環境を変えることは出来ません。理不尽な環境や不利な環境の中にいる子どもをサポートする活動を支援くださりありがとうございました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



新しく購入したイス



テーブルとイス2脚購入

